

シュリー・ラクシュミー

豊かさと吉兆の女神

マドゥーリカ・カンデールワル

シュリー・ラクシュミーは、豊かさ、吉兆、美の女神として、インドでは広く敬愛されています。ラクシュミーという名前は、サンスクリット語の「サウバーギヤ」(幸運)、「サムリッディ」(繁栄)、「サウダリヤ」(美)などと同じ意味です。敬称のシュリーは、吉兆と豊かさの原理を表し、同様に女神ラクシュミーの名前の一つです。マハーラクシュミー、すなわち偉大なラクシュミーは、彼女を信奉する者たちにさまざまな種類の恵みを注ぎます——彼女は豊富な祝福を授け、寛大さと幸運を生み出し、知識を与えます。シッダ・ヨーギとしての私たちは、マハーラクシュミーが与える富が、外側の富と同じくらい内側の富であると理解できます。彼女は、私たちが美しい世界を内側と私たちの周囲に作り出すよう支援します。私たちに内在する美德であるサッドグナは、シュリー・ラクシュミーの聖なる資質を反映するものであり、私たちがこれらの美德を自分たちの行動の中に認め培うよう自己努力する時、彼女は、**サーダナー**の成果として祝福を授けるのです。

マハーラクシュミーは、乳の海の攪拌(かくはん)(クシール・スラーガル・マンタン)から生まれたと信じられています。これはインドの教典の神話の出来事で、神と、アムリット、すなわち不老不死の薬を得ようとする悪魔との間の争いが描かれています。この攪拌した海からマハーラクシュミーが現れた時、すべての神と悪魔は、この幸せに満ちた、美しく、慈悲深い女神の姿を、畏敬と敬意をもって注視しました。象徴的に見ると、この海の攪拌は、内側の悪に屈することと美德を強めることとの間の私たちの奮闘を表し、マハーラクシュミーは、私たちの内側の美德を守り、それらを神聖な力として維持する神の恩恵を象徴します。

シュリー・ラクシュミーの古典的な像は、至高なる意識の海から現れるものとして描かれ、純粋さと精神的知識を意味するハスの花の上にしっかりと立っています。強さを象徴するゾウが、彼女に賛美をささげているのが描かれます。女神は多くの腕を持ち、それぞれが象徴的な物を持っています——敵を滅ぼす円盤(チャクラ)、知識を授けることを示す花(プシュパ)、吉兆の宣言をするほら貝(シャンカ)、そして金貨の流れは、あらゆる段階で彼女が授ける富を表しています。シュリー・ラクシュミーを崇拝する人々には、彼女が私たちの生活にもたらす豊かさと美を維持することへの献身があります。他の主要な神や女神と同様に、マハーラクシュミーも乗り物(ヴァーハン)を持っています。彼女の乗り物とは、用心深い性質と英知を象徴するフロウ(ウルーカ)です。

マハーラクシュミーは、ヴィシュヌ神——宇宙を維持する力——の永遠の連れ合いとして描写され、彼の創造のエネルギーとして働き、彼の神聖な目的を実行します。彼女は、伝統的には八つの姿を持つ——アシュタラクシュミー——と言われており、それぞれが、彼女の豊かな恩恵の特定的一面を表しています。例えば、シュリー・アーディ・ラクシュミーとして、彼女は、感覚を持つものと持たないもののすべての根底にある女神です。シュリー・ヴィジャヤ・ラクシュミーとして、彼女は、彼女を信奉する者たちの奮闘に祝福を与え、勝利と成功の結果をもたらします。マハーラクシュミーのもう一つの姿は、シュリー・サンターナ・ラクシュミーとして知られ、そこでは女神は、子どもの断固とした保護者である情け深い母です。シッダ・ヨーガの道では、アシュタラクシュミーを、グルマーイ・チッドヴィラーサーナダの誕生日である6月に敬います。(マハーラクシュミーの八つの姿、すべてについてさらに読むには、[ここをクリック](#)してください)

昔から、インドの賢人や聖人たちは、女神ラクシュミーをたたえ、彼女の美を敬愛し、彼女の寛大さと慈悲を褒めそやす賛歌や歌を作ってきました。マハーラクシュミーの情け深い像に焦点を当てることで、私たちは、神聖な宇宙のエネルギーの顕現としてこの女神を認識し、呼び起こします。

『シュリー・マハラクシュミヤシュタカム・ストートラム』の第7節では言っています。

padmāsana-sthite devi parabrahma-svarūpiṇi |
parameśi jagan-mātar mahālakṣmi namo 'stu te
mahālakṣmi namo 'stu te ||

おお、女神よ、ハスの花に座し、絶対なるブラフマンの具現よ、
おお、至高なる女神マハーラクシュミー、
宇宙の母よ、あなたに敬意を表します。¹

多くの人が、毎日、マハーラクシュミーの姿を取った崇高な女神を崇拝しています。しかし、女神の「九夜」である**ナヴァラトウリー**の祝祭、そして私たちの家と命を照らす神の光の祝祭である**ディーパーヴァリー**の間、特別な祈りが彼女にささげられます。真理を探究する者にとって、マハーラクシュミーを愛と献身をもって崇拝することは、サーダナー、精神的な旅において、大きな意味を持ちます。シュリー・マハーラクシュミーへの献身を表現することは、内在する**クンダリーニー・シャクティ**——シッダ・ヨーガのグルによって目覚め、生き生きとした恩恵として私たちのサーダナーを内側から絶えず導いている女神——の姿を敬うことなのです。

ナヴァラトウリーの間、私たちは、『シュリー・マハーラクシュミヤシュタカム・ストートラム』のような賛歌を朗唱し、母なる自然の中の彼女の存在に気づき、私たちの日常の活動を通して、サッドグナ、美德を養うことで、シュリー・マハーラクシュミーをたたえることができます。



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹ *The Nectar of Chanting* 4th ed., 2017 reprint (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1984) p. 183.